

開拓団 18万5千人

◆開拓団の任務

- ① 軍と内地への食料供給
- ② 満州の経営要員
- ③ 軍と国のねらいは、ソ連国境に「人間の壁」配置

・初期/農村救済(農村)⇒後期/満洲経営(都市/転職者)

全国から送出された開拓団



長野3万8千人/12%

- ①生糸 ②信濃教育会
- ③推進者/中心人物が多く

- 1位・長野
- 2位・山形
- 3位・熊本
- 4位・福島
- 5位・新潟
- 6位・宮城
- 7位・岐阜

満蒙開拓平和祈念館(長野阿智村) (研修セミナー棟)



長野県送出数 3万8千人

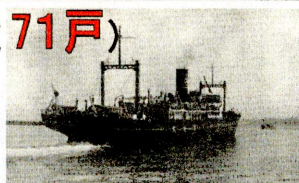
◆新潟県5位(65開拓団)

(最終20年5月26次 71戸)

(全国比 4、3%)

1万2千651名

(死者4,980人=40%)



・開拓団数 9,361人
・義勇軍数 3,290人
・戸数 4,345戸

昭和13年「新潟港」主要送出港に指定

(新潟・秋田・下関) (満州への表玄関) (上野~新潟~羅津~新京)

16万人(6割)/27万人

S6上越線開通

「西山旅館・新潟満蒙開拓館」300人 26室「〇満蒙草の人々が」

「東北・長野に比して物足らぬ」
「他県に対して極めて熱意なし」

新潟県移民進まず!

(新潟県の充足率
- 昭和14年 ~
30~40%)

昭和15年 10%
(法坂部落 初の移民 須田一家)

106~6次(昭和12)五福堂開拓団
100~7次(昭和13)清和開拓団
30~40% 8次(昭和14~)

土の戦士を送る歌 (昭和14 本橋 敏 新潟新聞社)

- 1 お国をあとに はるばると
あの大陸に 船出する
土の戦士を 送る日に
港新潟心から
あなたの幸を 祈ります
- 2 あなたの行途 ああ空に
輝く旗は 日の御旗
五色の旗も もろともに
遠い地平に 野の風に
土の誇りを 呼ぶでしょう
- 3 遅てなくひろい ああ土に
希望の線を 下ろすとき
ゆかしい蘭の 香をそえて
大和桜の まごころが
あなたの胸に 咲くでしょう
- 4 あなたの胸に 燃える血は
のぼる朝日の 茜色
その魂で どこまでも
大地に生きる 根強さが
アジアを興す 力です
- 5 土の戦士よ いざさらば
この新潟の お別れに
生まれ故郷の 日本の
色と匂いと 想い出を
船路の夢に 贈ります
- 6 土の戦士よ さようなら
越路の山も この海も
双手をあげて 声あげて
伸びる日本を 負うて往く
あなたの幸を 祈ります

前半終了です。少しお休みしましょう。



福島/喜多方 須田一彦